

資料2 千葉県ICT活用戦略進捗状況一覧：波及効果の高いプロジェクト

項目	取組名	成果指標	基準値 (令和元年度)	令和2年度末 見込値(実績値)	中間目標 (令和2年度達成見込)	中間目標 達成状況	備考	最終目標 (令和3年度)
ア ICTを活用した 庁内業務の効率化	テレワークの推進	テレワーク実施者数（在宅勤務とサテライトオフィス勤務の合計）	25人 (令和元年12月)	在宅勤務実施者数 4～5月：57,891人 6～12月：7,900人 (4～12月計：65,791人)	140人	○		280人
	庁内事務におけるRPAの導入	RPA導入により削減した作業時間（令和元年度から実証開始）	0時間	約2,500時間	3,000時間	×	令和2年度は、概ねのシステム構築は終了したものの、2事業の実施に止まる見込み。来年度、導入業務全般について本格運用を目指す。	6,000時間
	電子申請など行政手続のオンライン化推進	電子化済みの手続数（手続総数1,960手続のうち）	98手続	進捗管理を停止している	130手続	進捗管理を停止	詳細は、資料1を参照	150手続
	議事録作成システムやWeb会議システム等、業務効率化に資する取組を検討	ICTを利活用し、新たに業務効率化を進めた取組数	0件	5件	3件	○		5件
		WEB会議機能を利用した回数	—	延べ参加人数 44,472人	500人	○		1,000人
ICT活用による現場業務の改革	児童相談所におけるモバイル端末等の効果的な運用による業務プロセスの見直しなどICTの活用による現場業務の執行体制強化	ICTを活用した業務改革に資する取組の数	0件	1件	1件	○		8件
ウ ICTを効果的に活用できる人材の育成	学校教育におけるタブレット端末等を活用した授業の推進	児童・生徒のICT活用を指導する能力を持つ教員の割合	68.1% (平成30年度) 70.8% (令和元年度)	今年度の状況については来年度当初に調査の予定	100.00%	今年度の状況については来年度当初に調査の予定		100.00%
	県立高校と産業技術総合研究所デザインスクールとの連携	産総研デザインスクールへの参加校数	1校	1校	1校 内容の充実に努めます	×	取組校数については、現状を維持しているものの、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、生徒が参加するワークショップなどを開催できなかった。	1校 内容の充実に努めます
	小中学校への出前プログラミング授業	小・中・高連携の特別授業実施教員のうちプログラミング指導をする人数	教員25名	22名	増加を目指します。	×		増加を目指します。
		小・中・高連携の特別非常勤講師のうちプログラミング指導をする人数	特別非常勤講師9名	14名	増加を目指します。	○		増加を目指します。
	県立高等技術専門学校におけるICTに対応できる人材の育成	県立高等技術専門学校のICT関連訓練科の就職率	89.0% (過去5年の平均値)	90% (令和元年度)	増加を目指します。	○		増加を目指します。
	再就職を目指す人や障害のある人を対象とした基礎的なIT知識の習得を目的とした職業訓練	離職者等再就職訓練事業の情報系コースの就職率	71.8% (令和元年度)	60.6% (令和2年12月時点)	75.0%	×		75.0%

【凡例】

- ・黄色：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大きく進捗した取組。
- ・緑色：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、進捗が遅れた取組。